

外科学第二（消化器・移植外科学）

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 4) 実際の医療に直接接する中で、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 担当患者の疾患に対する診断法、手術を中心とした治療法、術前術後の管理法、合併症に対する処置法、問題点、医療面接などを習得し、説明できる。
- 2) OSCE で学んだ腹部診断法および外科基本手技を実践できる。
- 3) 教育関連病院での外来や手術、病棟の見学を通して、各病院の外科医、医療スタッフとのコミュニケーションをとり、担当者の役割を理解し、説明できる。
- 4) Informed Consent(IC)や臨床外科診療の現場に立ち会い、その内容と目的を理解し、説明できる。

【実習内容】

1. 各自が手術患者を担当し、担当医とともに予習をし、手洗いをして手術に参加する。
 2. 術後も担当医と共に回診、検査、処置などの病棟実習を行う。
 3. 各臓器別分野(上部消化管、下部消化管、肝胆膵、移植)の臨床学講義を行う。
 4. 担当症例を通して学んだことを最終日にプレゼンテーションし、レポートとして提出する。
 5. 外科基本手技を習得するため、実臨床で役立つ縫合・結紮の指導を個別に受ける。
 6. 到達目標を設定し、上級医が適宜指導・評価する。
- *新型コロナウイルス感染状況悪化時は、オンライン講義実習を行う。

【評価方法】

実習終了時、指導医により、下記の点をもとに成績評価を行う。

1. 実習態度（病棟・手術実習）
 2. 担当症例のプレゼンテーション
 3. 症例レポートの内容
 4. ミニレクチャー(臨床学講義)の聴講態度
- (配点)

上級医・指導医による学生の実習態度の評価 30 点、
プレゼンテーション・レポート記載内容 30 点、
出欠 40 点

【週間スケジュール】（*祝日や講義担当者の都合により変更する場合があります）

1 週目	
月	10:30 オリエンテーション 11:00 レポート作成の為の資料収集と指導医との面談 14:00 縫合・結紮トレーニング 15:00 講義
火	(手術担当症例のある方)担当医とともに行動。 (手術担当症例のない方)10:00～手術見学
水	10:00～病棟実習 16:00～内視鏡外科手術手技実習
木	8:15～肝胆膵術前カンファ (手術担当症例のある方)担当医とともに行動。 (手術担当症例のない方)10:00～手術見学
金	8:15～総回診カンファレンス 10:00～病棟実習 14:00～周術期管理講義
2 週目	
月	8:15～食道胃大腸術前カンファ 9:00～病棟実習 13:00～消化器・移植外科医キャリアラダー紹介レクチャー 14:00～移植講義 15:00～肝胆膵講義
火	(手術担当症例のある方)担当医とともに行動。 (手術担当症例のない方)10:00～手術見学
水	10:00～大腸講義 11:00～病棟実習
木	8:15～肝胆膵術前カンファ (手術担当症例のある方)担当医とともに行動。 (手術担当症例のない方)10:00～手術見学
金	8:15～総回診カンファレンス 10:00～病棟実習 13:00～Meet the Professor 16:00～実習の総括・プレゼンテーション

※ 手術室係と共に手術室に入室、手洗い実習。担当症例以外の学生は、手術室係による説明と手術見学

月、水、金曜日には、上・下部消化管外科、肝臓外科、移植外科の臨床講義を行う。

実習期間中に中国労災病院、県立広島病院、東広島医療センター、呉医療センター、土谷総合病院、尾道総合病院の中からいずれか2病院を見学する。コロナ蔓延状態を踏まえ広島大学行動指針に基づき中止の可能性がある。(2023年10月現在、院外実習再開を計画中)

先端医療技術トレーニングセンター（医学部基礎増築棟3階）においてシミュレータによる腹

腔鏡手術トレーニングが体験できる。腹腔鏡手術トレーニングはコロナ蔓延状態を踏まえ広島大学行動指針に基づき中止の可能性がある。

【注意事項】

1. 持参するもの：白衣、筆記用具（手術担当症例はゴーグルを持参）
2. 集合時間・場所（初日）：午前 10:30 に臨床研究棟 6F 外科カンファレンスルーム（第一週の月曜日が祝日の場合、翌火曜日は午前 10:00 に診療棟 4F 手術室更衣室前集合）。翌日以降の集合については初日オリエンテーションで説明する。
3. 実習中は積極的に質問し、実臨床から学ぶ。またベッドサイド実習は感染蔓延状態を踏まえ広島大学行動指針に基づき制限を加えることがある。
4. 同じグループの他患者についての情報を共有し、ベッドサイド処置（ドレーン抜去、中心静脈ルート挿入、気管切開など）や、検査室での特殊検査（血管造影、消化管造影、各種内視鏡、各種エコー検査など）を見学する。
6. 実習期間中に、縫合セットを貸し出し、縫合・結紮手技のレクチャーを受ける。担当患者の主治医からも手技を学び、到達目標まで辿り着けたかどうかを上級医が評価する。

【指導教員】（2021 年 10 月現在）

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
教授	大段 秀樹	診療講師	田原 裕之	医科診療医	矢野 琢也
教授（保健学科）	田邊 和照	診療講師	黒田 慎太郎	助教	中野 亮介
准教授	小林 剛	助教	下村 学	医科診療医	本明 慈彦
診療准教授	井手 健太郎	助教	佐伯 吉弘	医科診療医	太田 浩志
診療講師	大平 真裕	助教	坂井 寛	医科診療医	赤羽 慎太郎

【連絡先】

1. 通常時連絡先

医局 082-257-5222 E-mail: transp-secretariat@hiroshima-u.ac.jp

2. 1 で繋がらない場合の緊急時連絡先

082-257-5963（代表にて第二外科当直用 PHS 2007 に繋いでもらう）